

留学先国名 : アメリカ合衆国

留学先学校名 : ウィノナ州立大学

留学期間 : 平成 25 年 8 月 13 日 ~ 平成 29 年 5 月 10 日

留学生活が始まり、はや二年。今学期も勉学、課外活動、仕事、プライベートを充実し、程よくバランスが取れた半年でした。

勉学の面では、初級レベルの授業から中級、上級レベルへとハードルが上がる中、必死に追いつこうとしている自分がありました。宿題、小論文、研究論文などの量も増え、予習や復習の日々でした。過去に、簡単な授業だからといってあまり力を入れなかった初級レベル授業が基盤となる講義も多々あり苦戦もしましたが、なんとか納得のいく成績で学期を終えることができ、最後まで諦めないことの大切さを学びました。たとえ試験で一度失敗してしまったからといっても、宿題を出し忘れてしまっても、その結果を覆す手はいくらでもありました。例えば、20人～40人の規模の授業では、『participation』いわゆる『参加』が成績に大きな影響があります。クラス内で質問、発言することによって、積極的に授業に参加していると評価され、試験以外の成績に participation point (参加点) が加算されます。間違いを恐れず、自分の意見を表すことが重要です。さらに、授業外の時間帯に教授に相談や質問をすることによって、教授によっては熱意や努力を認め、参加点を加算してくれる場合もあります。授業中に聞けなかった質問も、自分で理解できなかった宿題も、そのまま放っておかず、教授に相談しに行くのが一番の解決法です。その他にも、Extra Credit (特別課題) というものがあります。Extra Credit とは、与えられた宿題や問題以外の特別課題をすることによって余分に生徒の成績に加算される、いわゆるサービスポイントです。このように、たとえ授業が難しくても、失敗してしまっても、修正するチャンスはあるのです。しかし、このチャンスを掴むためにもまずは自分が行動することが必要。

また、今学期は課外活動にも参加するようになりました。小学校の時からずっと続けている空手を、この大学の Karate Club で再び稽古することによって、健康的な生活を維持しています。せっかくの課外活動の機会を有効活用しようと、Karate Club の秘書に立候補し、就任しました。さらには、Japan Club の会長にも抜擢され、指導的地位を得ることができました。リーダーシップは、大学生活において繋がりを得るのにも、将来的に就職する際にも、とても重要な要素です。そのため、課外活動は学業以外の息抜きの場でもあり、自分の能力を磨く場でもあるということを学び、これからも積極的に色んなことに挑戦していこうと思いました。

今学期は、勉強、課外活動以外にも学校内での仕事にも力を入れました。一回生の時から続けている日本語の個別指導、さらには去年から始めた留学生向けの英語の個別指導も行っています。他の学生に指導することにより、コミュニケーション能力を得ることができ、自信をつけることもできます。教える立場に

立って得る知識もたくさんあり、この仕事を続けていてよかったなと思います。働くことで自由時間が減り、その限られた時間の中でどう時間管理をするかを試す機会でもあります。学生として、学業は優先しなければいけません、時間をうまく割いて、働いて自分でお金を稼ぐことも経験の一つです。

そして今年の夏、初めてのインターンシップに挑戦しました。日本の方が経営している会社でお手伝いをさせていただく機会があり、アメリカで日本文化を伝えるイベントを企画したり、アメリカで活躍する日本人の社会人の方々と日本人留学生の交流会のお手伝いをしたり、繋がりや知識を広めることができました。実際に、現場で社会の一員として働く厳しさ、自分の単語力の低さ、知識の無さに気付かされる良い機会となりました。一步都会に出てみると、世界で活躍している日本人が星の数ほどいます。母国を離れて世界で活躍している人たちは輝いて見えました。日本の貿易会社から出張にきていた社会人、アメリカで戦っている日本人スポーツ選手のトレーナー、日本の航空会社で働く客室乗務員、自営業者など、職種の幅広さを改めて知り、これからもっとリサーチをして、自分が興味のある仕事を見つけたいと思いました。次は、アメリカの企業でもインターンシップを試してみたいです。

2015年春学期は、バランスを取りながら色々なことに挑戦できた学期でした。来学期からは、大学三年目に突入です。授業のレベルが更に上がり、その上卒業後の計画も立て始めなければいけません。課外活動、勉強、今できることを精一杯、今まで以上に頑張っ前に進み続けたいです。